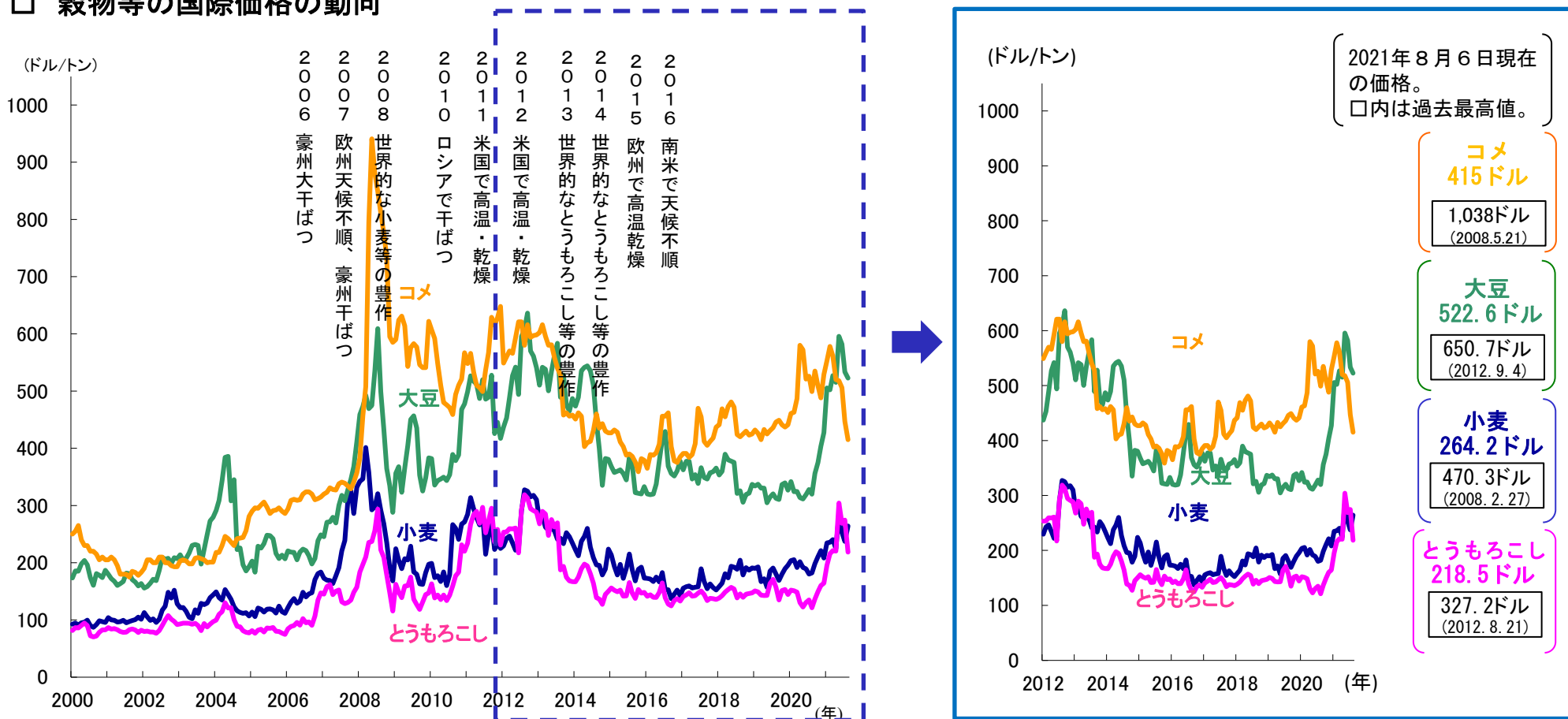


資料 1 穀物等の国際価格の動向（ドル/トン）

○とうもろこし、大豆が史上最高値を記録した2012年以降、世界的な豊作等から穀物等価格は低下。2017年以降ほぼ横ばいで推移も、2020年後半から南米の乾燥懸念、中国の輸入需要の増加等により、大豆、とうもろこしを中心に上昇。コメは、2013年以降低下も2020年ベトナムの輸出枠設定や2021年初頭のコンテナ不足等で一時的に上昇。2021年2月半ばから海外需要低迷で低下。

○なお、穀物等価格は、新興国の畜産物消費の増加を背景とした堅調な需要やエネルギー向け需要により、2008年以前を上回る水準で推移している。

□ 穀物等の国際価格の動向



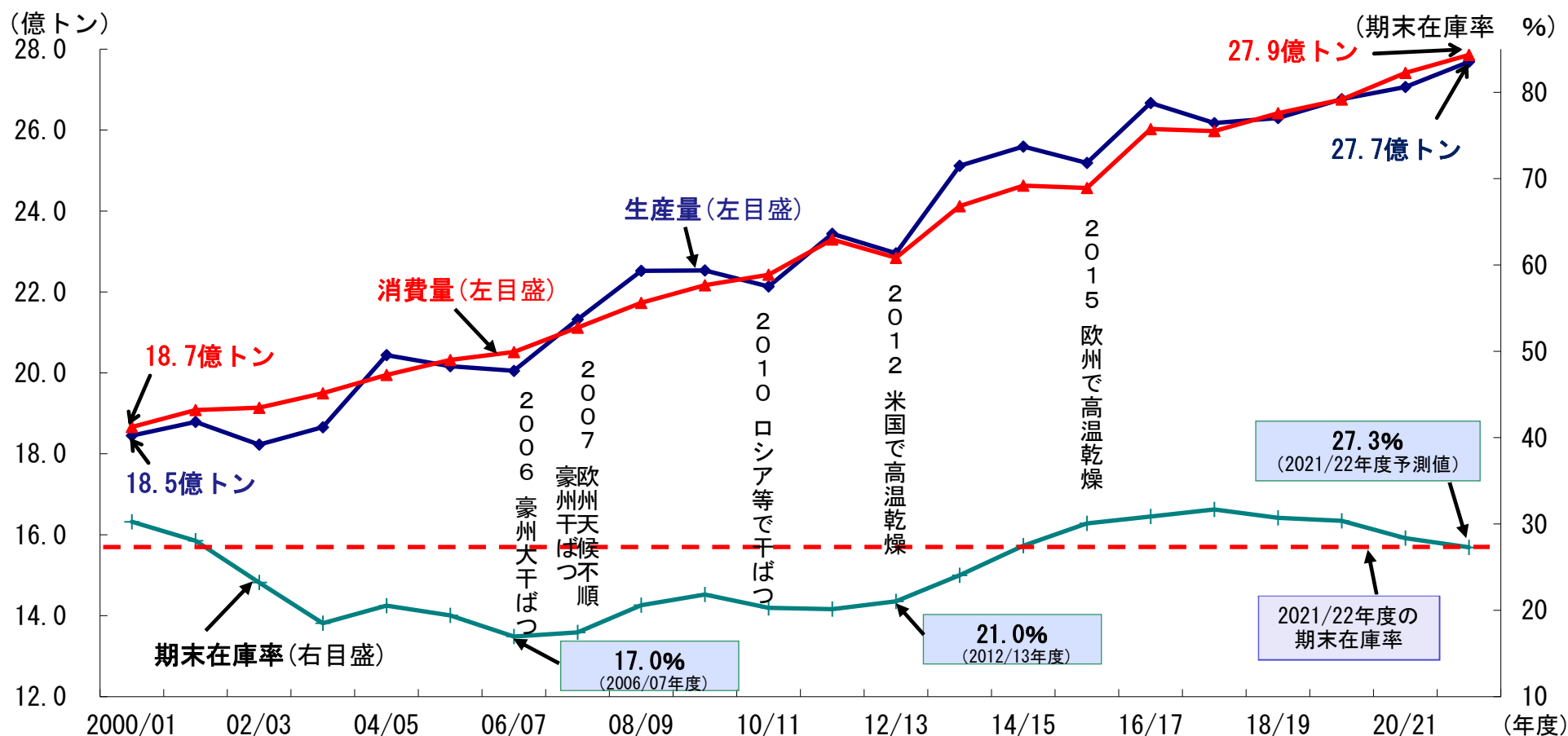
注1：小麦、とうもろこし、大豆は、シカゴ商品取引所の各月第1金曜日の期近終値の価格（セツルメント）である。コメは、タイ国家貿易取引委員会公表による各月第1水曜日のタイうるち精米100%2等のFOB価格である。

注2：過去最高価格については、コメはタイ国家貿易取引委員会の公表する価格の最高価格、コメ以外はシカゴ商品取引所の全ての取引日における期近終値の最高価格。

資料2 穀物の生産量、消費量、期末在庫率の推移

- 世界の穀物消費量は、途上国の人口増、所得水準の向上等に伴い増加傾向で推移。2021/22年度は、2000/01年度に比べ1.5倍の水準に増加。一方、生産量は、主に単収の伸びにより消費量の増加に対応している。
- 2021/22年度の期末在庫率は、生産量が消費量を下回り、前年度より低下し、27.3%。直近の価格高騰年の2012/13年度(21.0%)を上回る見込み。

□ 穀物(コメ、とうもろこし、小麦、大麦等)の需給の推移

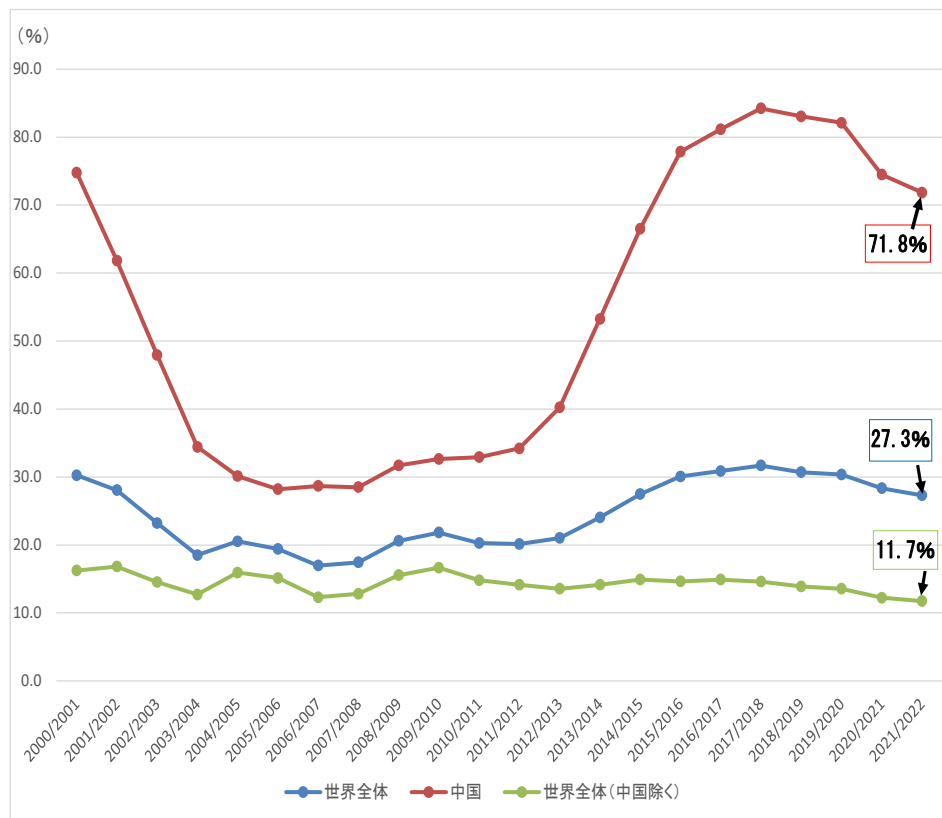


資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」 (August 2021)、「PS&D」

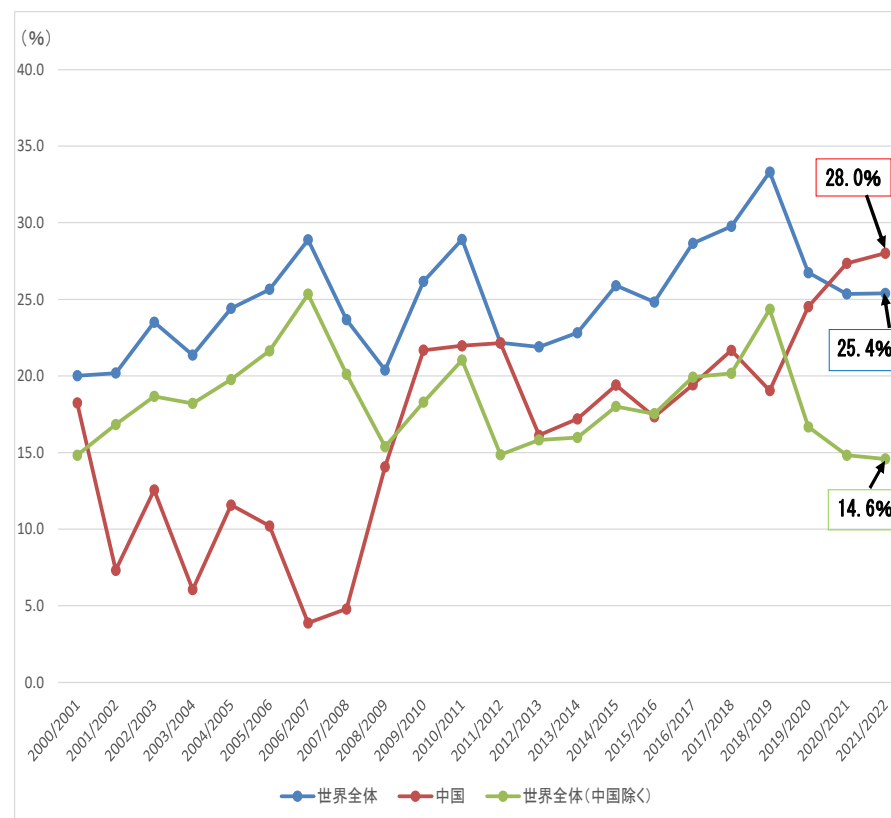
(注) なお、「PS&D」については、最新の公表データを使用している。

資料 3-1 穀物等の期末在庫率の推移（穀物全体、大豆）

○ 穀物全体の期末在庫率の推移



○ 大豆の期末在庫率の推移



資料：米国農務省「PS&D」(August 12, 2021)

注：1) 穀物とはとうもろこし、小麦、コメ等(大豆除く)。

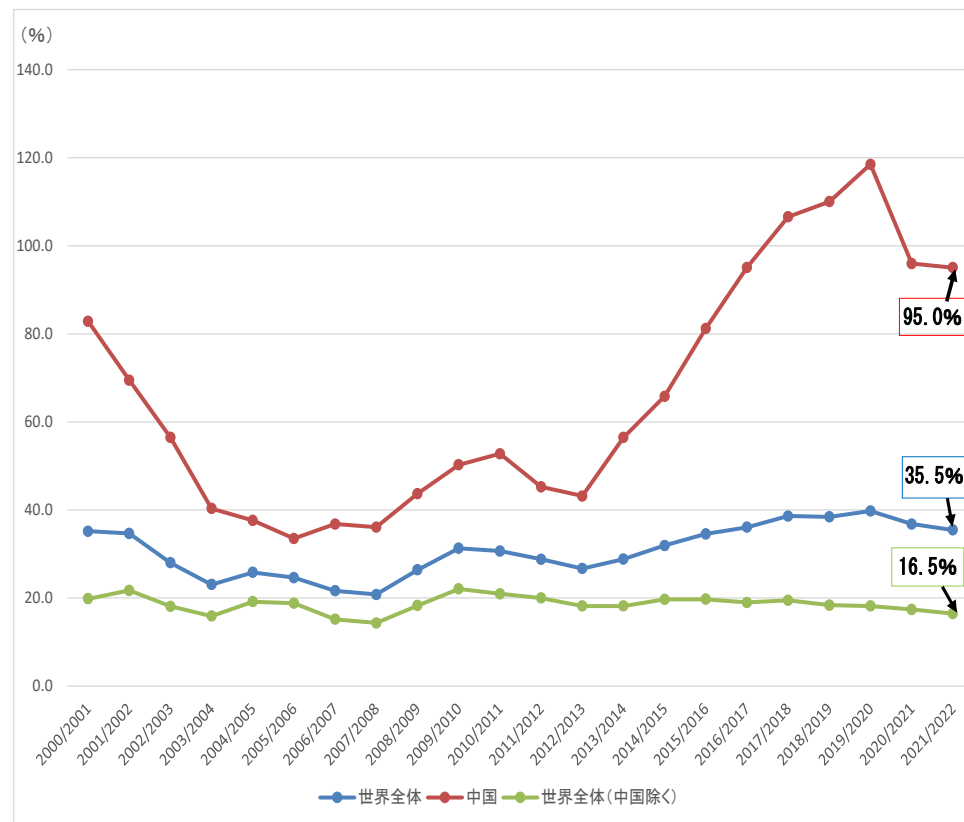
2) 世界の期末在庫率(%) = 期末在庫量 / (消費量 + 輸出量 - 輸入量) × 100 ※ただし大豆については、世界の期末在庫率(%) = 期末在庫量 / 消費量 × 100

3) 中国の期末在庫率(%) = 中国の期末在庫量 / (中国の消費量 + 中国の輸出量) × 100

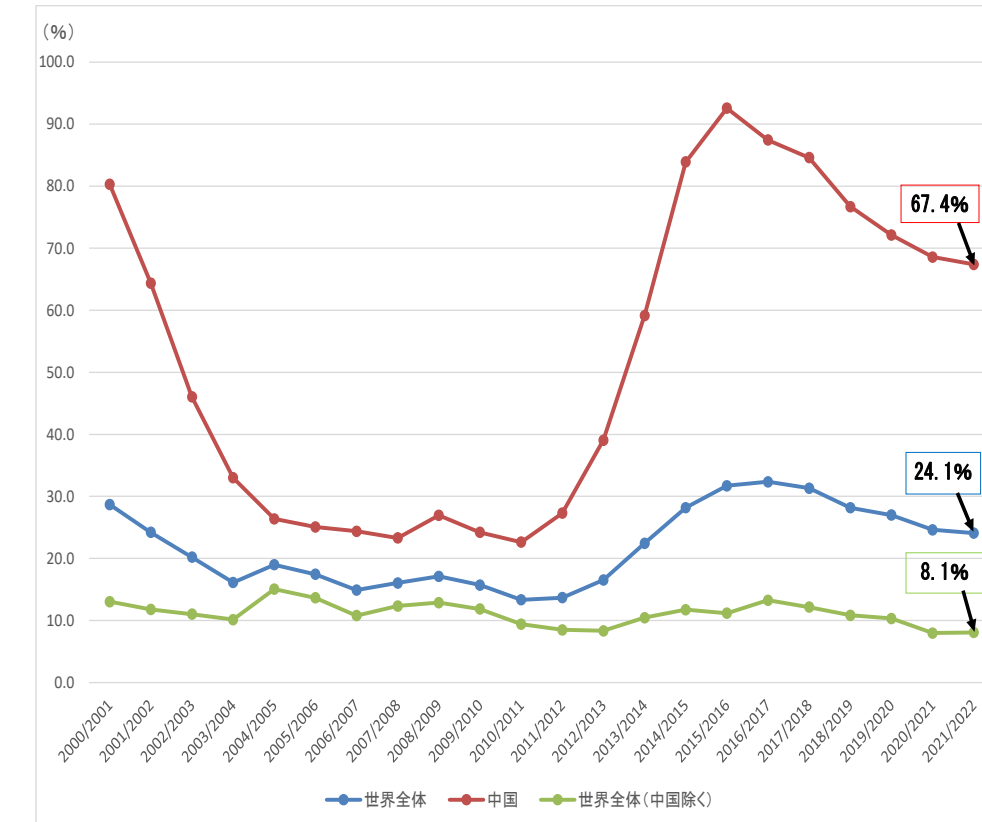
4) 中国除く期末在庫率(%) = 中国除く期末在庫量 / (中国除く消費量 + 中国除く輸出量) × 100

資料 3-2 穀物等の期末在庫率の推移（小麦、とうもろこし）

○ 小麦の期末在庫率の推移



○ とうもろこしの期末在庫率の推移



資料: 米国農務省「PS&D」(August 12, 2021)

注: 1)小麦は、小麦及び小麦粉(小麦換算)の計。

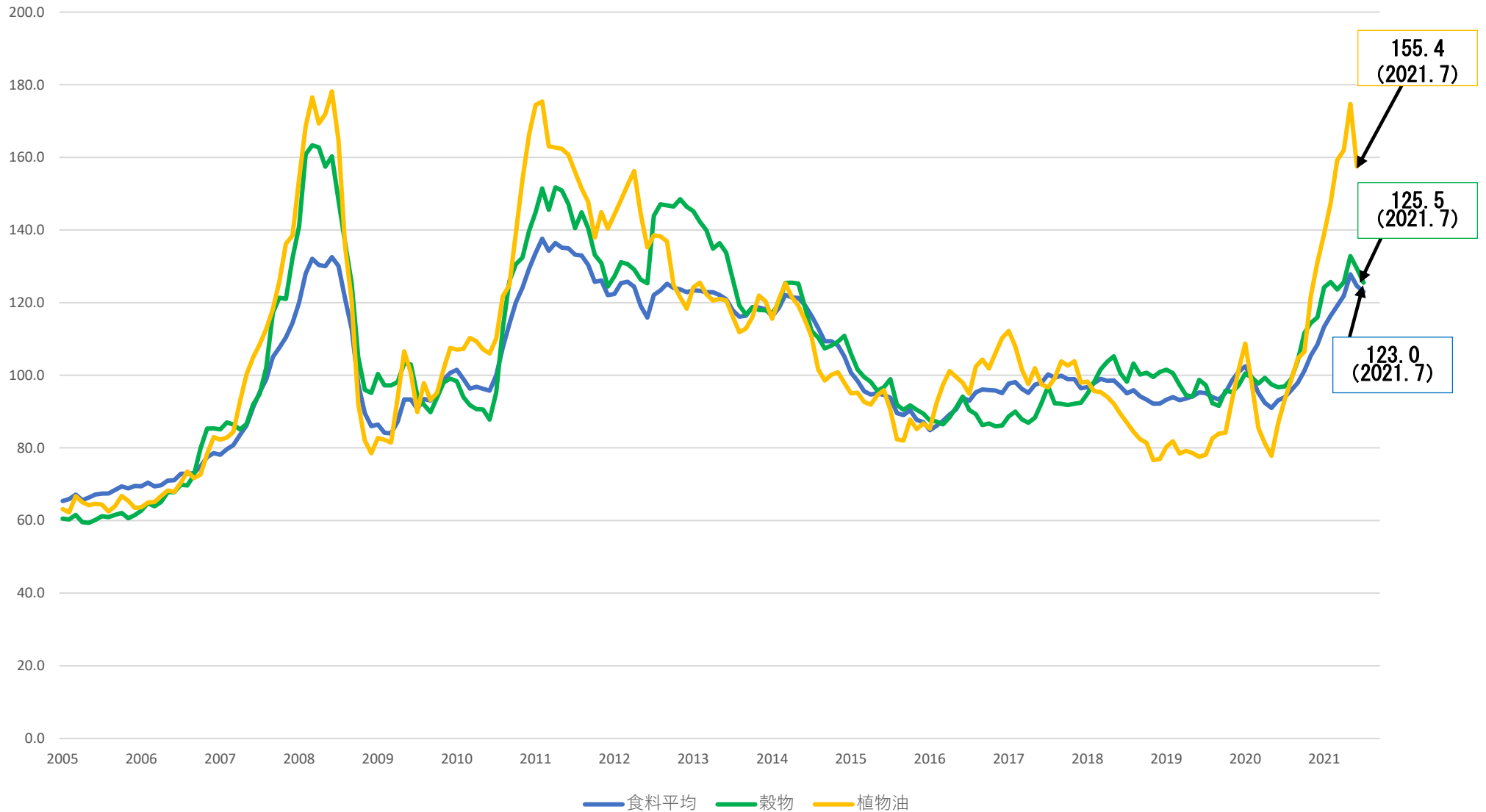
2)世界の期末在庫率(%)=期末在庫量/(消費量+輸出量-輸入量)×100

3)中国の期末在庫率(%)=中国の期末在庫量/(中国の消費量+中国の輸出量)×100

4)中国除く期末在庫率(%)=中国除く期末在庫量/(中国除く消費量+中国除く輸出量)×100

資料 4 FAO食料価格指数

(2014-16平均=100)



資料: FAO「Food Price Index」(2021.08)より作成

注: 穀物はとうもろこし、小麦、コメ等、植物油は大豆油、菜種油、ひまわり油、パーム油等

資料5 食品小売価格の動向

○ 国内の加工食品の小売価格については大きな値動きはなし。

消費者物価指数（総務省）
（令和3年2月～令和3年7月）

【参考】
食品価格動向調査（農林水産省）
（令和3年2月～令和3年8月）

	H28	H29	H30	H31 (R元)	R2	R3						
品目	平均	平均	平均	平均	平均	2月	3月	4月	5月	6月	7月	上昇率 (前年 同月比)
食パン	99.9	99.6	100.2	101.1	100.0	99.0	98.7	99.2	98.3	99.0	99.3	-0.7%
即席めん	96.2	95.7	95.3	98.5	100.0	100.5	100.1	101.1	99.7	99.0	100.4	-0.5%
豆腐	98.1	98.6	98.8	99.1	100.0	100.7	100.9	100.9	101.0	100.8	101.0	1.4%
食用油 (キャノーラ油)	106.3	102.7	101.5	100.9	100.0	98.9	98.1	98.7	99.4	102.3	103.9	3.6%
みそ	97.1	96.9	97.4	99.1	100.0	99.7	100.1	99.9	100.0	98.6	99.5	-0.9%
チーズ	97.7	97.3	100.9	101.3	100.0	100.3	99.5	100.3	97.9	96.5	98.7	-0.7%
バター	99.0	99.3	99.5	99.9	100.0	99.9	99.8	99.8	99.9	99.9	99.9	-0.2%
マヨネーズ	103.8	102.3	100.8	100.7	100.0	100.2	100.5	99.7	100.6	100.0	108.6	9.2%
生鮮食品を 除く食料	96.1	97.0	97.9	99.0	100.0	99.9	99.9	99.8	100.0	100.0	100.1	0.1%

注1: 令和2年の平均値を100とした指数で表記。

	H28	H29	H30	H31 (R元)	R2	R3									
品目	平均	平均	平均	平均	平均	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	上昇率 (前月比)	上昇率 (前年 同月比)	
食パン	99.0	97.6	97.9	101.3	100.0	99.7	99.7	98.6	98.0	98.4	97.8	97.5	-0.3%	-1.5%	
即席めん	92.8	92.6	92.4	97.9	100.0	99.6	99.6	99.6	99.6	99.6	99.0	99.0	0.0%	-0.6%	
豆腐	102.2	100.8	100.1	100.9	100.0	101.6	99.0	98.5	99.4	100.3	100.3	101.1	0.8%	1.7%	
食用油 (キャノーラ油)	99.6	97.9	97.9	103.5	100.0	97.3	96.9	98.8	98.2	100.1	100.7	106.1	5.4%	5.7%	
みそ	90.3	91.9	96.6	100.4	100.0	100.4	99.4	98.4	99.4	99.8	98.1	99.0	0.9%	-1.4%	
チーズ	95.5	95.2	98.6	100.9	100.0	101.0	100.0	99.1	98.6	93.1	99.5	99.1	-0.4%	-0.9%	
バター	98.2	98.8	99.0	99.5	100.0	99.9	100.2	99.7	99.5	99.7	99.5	99.5	0.0%	-0.7%	
マヨネーズ	99.9	99.1	97.9	103.1	100.0	99.0	98.7	97.7	97.7	99.0	104.5	105.9	1.3%	6.2%	

注1: 令和2年の平均値を100とした指数で表記。

注2: 調査は原則、各都道府県10店舗で実施。平成30年9月までは週1回、同年10月以降は月1回実施。

注3: 調査結果は調査期間中の平均値で算出。

注4: 令和2年4～5月、令和3年1～3月、同5～8月については、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の対象都道府県においては調査を中止。そのためそれぞれ前月の値とは接続しない。